

令和4年度進行管理・評価シート
岐阜市歴史的風致維持向上計画(平成25年4月11日認定)
(最終変更令和4年3月31日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

- ①-1 庁内関係部課による歴史まちづくり推進のための連携及び
「岐阜市歴史的風致維持向上協議会」の開催 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

- ②-1 景観重要建造物等助成事業 2
②-2 長良川中流域の文化的景観保存調査事業 3

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

- ③-1 岐阜公園再整備事業 4
③-2 史跡岐阜城跡説明板整備事業 5

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

- ④-1 史跡岐阜城跡発掘活用事業 6
④-2 岐阜市長良川鶺鴒伝承館事業 7
④-3 鶺鴒観覧船等の運航事業 8
④-4 長良川まつり補助事業 9
④-5 ふるさと大好き鶺鴒事業 10
④-6 伝統的工芸品「岐阜提灯」振興事業 11
④-7 「信長学」推進プロジェクト 12

- ⑤-1 効果・影響等に関する報道(様式1-5) 13

- ⑥-1 その他(効果等)(様式1-6) 14

- 法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 15**

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和4年度
庁内関係部署による歴史まちづくり推進のための連携及び「岐阜市歴史的風致維持向上協議会」の開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 組織体制としては、歴史的風致維持向上協議会(事務局(歴史まちづくり課))、関係機関を位置付ける。

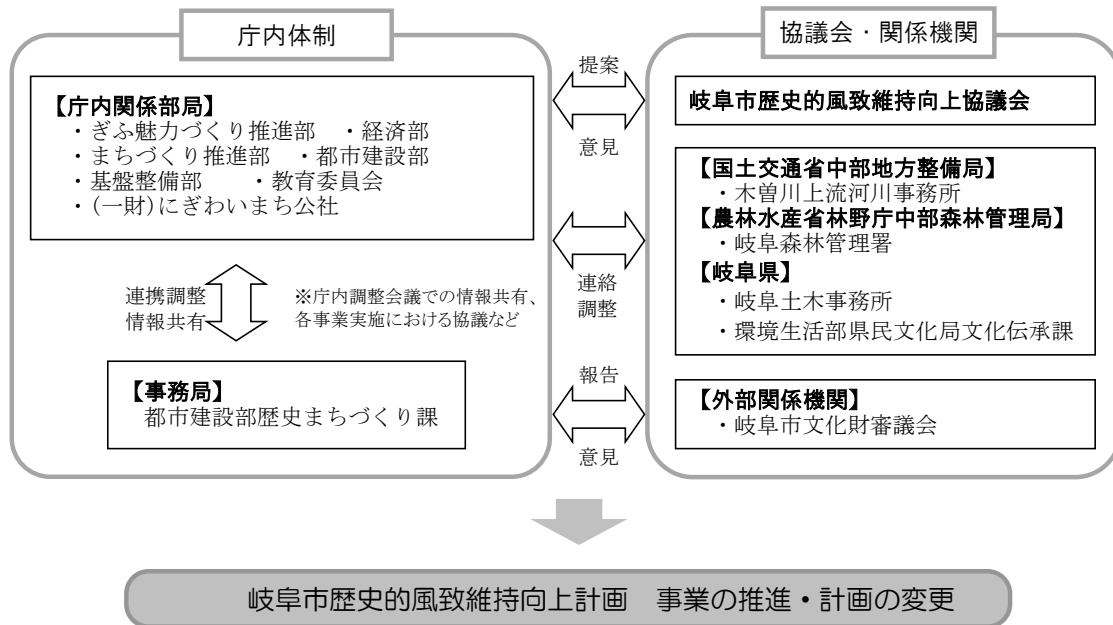
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画に掲載している各事業は、関係機関と連絡・調整を行い実施した。各事業の進行管理・評価は、事業担当部署と事務局との間で協議し、「進捗評価シート」を作成した後、令和5年2月の岐阜市歴史的風致維持向上協議会において、委員等の意見を聴取した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	概ね計画どおりに進んでいる。今後は、事務局を中心に事業担当部署間において密に連絡をとり、更なる連携強化を図りながら、事業を実施していく。
--	--

状況を示す写真や資料等



【会議等の状況】

岐阜市歴史的風致維持向上計画庁内調整会議(令和5年2月21日)

- 各事業の進行状況を、進行管理・評価シートを用い情報共有した。

協議会委員との事前協議(令和5年2月)

- 各事業の進行状況を進行管理・評価シートにて説明し、委員の意見を聴取した。
- 指摘事項をもとに進行管理・評価シートを修正した。

令和4年度第2回岐阜市歴史的風致維持向上協議会(令和5年2月27日)

- 各事業の進行状況に係る進行管理・評価シート案について委員等の意見を聴取した。

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度
	現在の状況	
景観重要建造物等助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 本市の良好な景観を形成する、景観重要建造物(景観法)、都市景観重要建築物(岐阜市景観条例)の維持補修にかかる工事費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観重要建造物指定件数:20件
 都市景観重要建築物指定件数:8件
 ・R4修繕 → 景観重要建造物(1件)の保全を図った。
 No.1: 桑原家住宅主屋(瓦屋根改修)

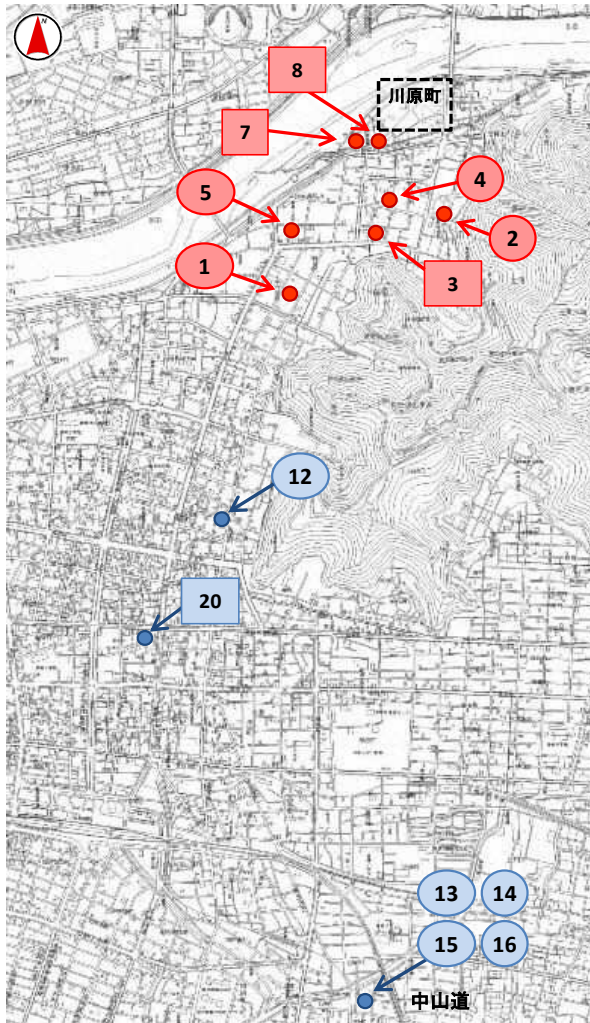
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

予算年度に関わらず、修理の相談から工事開始までを円滑に進められるよう、所有者が利用しやすい助成制度にするため、平成30年度に助成金の財源をぎふ景観まちづくりファンド基金に移行した。この基金の残高が令和3年度でなくなったため、ファンド事業は終了したが、令和4年度からは国の交付金(社会資本整備総合交付金「街なみ環境整備事業」)を活用し、景観重要建造物の維持保存工事に対する助成を開始した。

状況を示す写真や資料等

景観重要建造物・都市景観重要建築物 位置図

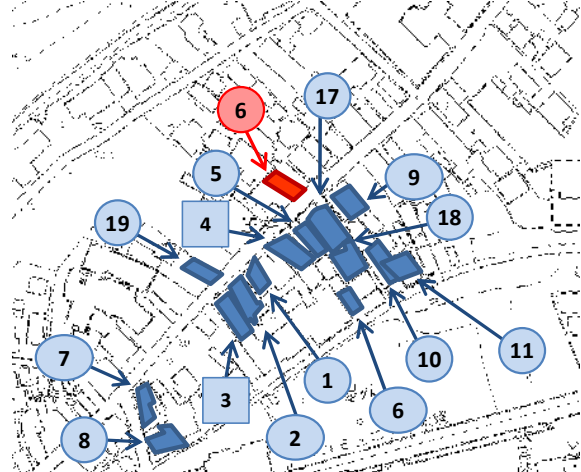


物件名	助成年度
1 石原美術館	H11
2 名和昆虫博物館	H10 H16
3 林春男邸	-
4 平野和夫邸	H10 H11
5 旧青木医院	H12
6 松井邸	H16
7 後藤邸	-
8 榎坂井銘木店	-

○ 助成有
 未助成

物件名	助成年度	物件名	助成年度
1 桑原家住宅 主屋	H16 H26 R1 R4	11 青木家住宅 土蔵	R2
2 桑原家住宅 煉瓦蔵	H16 H25 H26	12 岡本家住宅 主屋	H13 H24 H30 R2
3 桑原家 事務所	-	13 森家住宅 主屋	H13 H26 H29
4 深尾商店 主屋	-	14 森家住宅 離れ	H13 R3
5 川原町屋 主屋	H14	15 森家住宅 門及び塀	H13 R3
6 川原町屋 土蔵	H14	16 森家住宅 倉庫	H13 H26
7 野々垣家住宅 主屋	H28	17 後藤市三郎商店 主屋	H15 H25 R2 R3
8 野々垣家住宅 土蔵	H28	18 後藤市三郎商店 土蔵	H15
9 青木家住宅 主屋	H23	19 十六銀行旧富茂登出張所	H29
10 青木家住宅 土蔵	R2	20 十六銀行旧徹明支店	-

川原町拡大



評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度
		現在の状況

長良川中流域の文化的景観保存調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------------	---

計画に記載している内容 岐阜城及び城下町などの歴史、長良川や金華山などの自然、また、長良川鵜飼、竹・紙を用いた提灯・団扇・傘製造の伝統文化等、岐阜市ならではの資産を文化的景観という概念により、包括的かつ重層的に保存・継承していくことを目的として、その本質的価値を明らかにする調査を実施し、保存計画や整備計画を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成25年度：「長良川中流域における岐阜の文化的景観」が重要文化的景観に選定(H26.3.18)。
- 平成26年度：パンフレット作成。「重要文化的景観選定記念シンポジウム」を開催(H26.7.27)。
- 平成27年度：重要な構成要素のプレートを作成し、所有者に配布。
- 平成28年度：重要な構成要素の個別パンフレットを作成。「整備基本構想」の策定を開始(H29年度までの2か年)。
- 平成29年度：重要な構成要素の個別パンフレット改訂版を作成。「整備基本構想」を策定。
- 平成30年度：重要な構成要素「山下鶴匠家(マルヤマ)」主屋について、外観修復、構造補強等の工事を実施し、重要な構成要素の保存を図った。重要な構成要素の個別パンフレットを作成。「整備計画」の作成を開始(2019年度までの2か年)。「岐阜大仏」の詳細調査に着手。
- 令和元年度：「整備計画」を作成。正法寺大仏殿及び岐阜大仏の3Dスキャンを実施。重要な構成要素の個別パンフレットを作成。
- 令和2年度：「整備計画」の印刷、刊行。正法寺大仏殿及び岐阜大仏の3Dスキャン(R1より継続)を実施。3Dデータを用いた映像作成。重要な構成要素の個別パンフレット改訂版を作成。
- 令和3年度：正法寺大仏殿及び岐阜大仏の3D動画をYouTubeにて公開(4/2～)・岐阜市歴史博物館にて上映(4/10～5/30)。重要な構成要素の個別パンフレット(鏡岩水源地)作成。
- 令和4年度：「金鳳山正法寺大仏殿及び大仏整備基本計画」刊行。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後引き続き、既選定範囲および追加予定範囲について、岐阜市長良川流域の文化的景観検討委員会による保存調査、保存計画、整備構想、整備計画等の検討を行う。 既選定範囲における重要な構成要素について、文化財保護法上の手続き(現状変更など)が必要となるため、所有者との情報共有を密に行う。

状況を示す写真や資料等

整備計画	金鳳山正法寺大仏殿及び大仏整備基本計画
------	---------------------

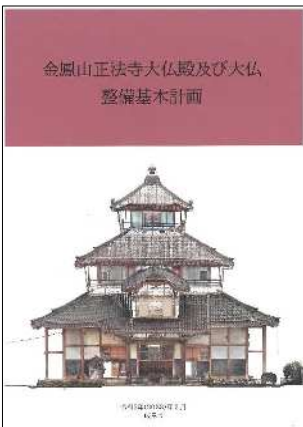


H30年度に刊行した整備基本構想等を基に整備計画を策定。(整備計画概要版)

正法寺大仏殿・岐阜大仏 3D動画



令和3年度 令和元年度と2年度に実施した3Dスキャンデータを基に作成した動画を公開した。



令和4年度 整備基本計画の作成

岐阜市の文化的景観とは
 鵜飼の舞台としてだけでなく、水運により物流の主軸となっていた長良川。斎藤道三公や織田信長公が拠点として活用するだけでなく、豊かな生態系が維持されている金華山。それらに隣接し戦国時代以来の姿を残す、堤外地(長良川の堤防の外。川側に位置する。)にある2つの大きな集落と旧城下町。これら特色ある自然と町と人々が一体となって形成してきたこの文化的景観は「岐阜市の原風景」といえます。
 ※「長良川中流域における岐阜の文化的景観」は、平成26年3月18日に国の重要文化的景観に選定。

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
岐阜公園再整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～令和4年度

支援事業名 平成21～平成25年度 : 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
 平成26～令和元年度 : 社会資本整備総合交付金(都市公園事業)
 令和 2～令和 4年度 : 都市構造再編集中支援事業

計画に記載している内容 史跡岐阜城跡に指定されている金華山山麓に位置する岐阜公園が持つ歴史的価値に鑑み、その歴史を活かした公園として再整備を進めていく。

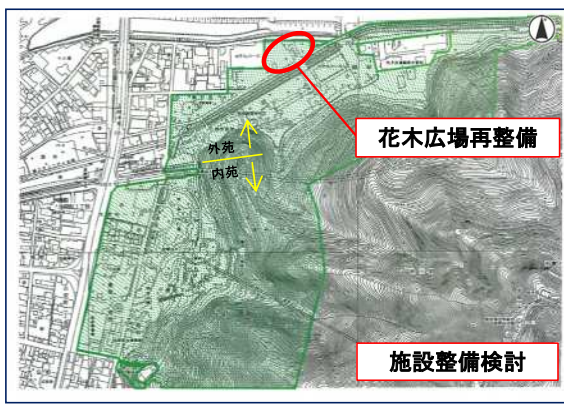
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度
 ・花木広場再整備
 岐阜公園外苑の花木広場において、広場の自然豊かな魅力を活かし、長良川や金華山などの眺望が楽しめるデッキ、ペタンク等の軽スポーツが楽しめる多目的広場など、憩い・やすらぎ・心地よく過ごせる空間へと再整備を行った。
 ・公園機能の充実に向けた施設整備の検討
 全国に誇る歴史資産、観光資源としての魅力を高めるため、「国史跡岐阜城跡」と連携した施設整備、Park-PFIいわゆる民間活力の導入による施設整備などの検討を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 引き続き関係機関と調整を行い、再整備事業の進捗を図っていく。

状況を示す写真や資料等



箇所図 公園区域



岐阜公園(内苑)再整備イメージ



花木広場(改修前)



花木広場(改修後)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
史跡岐阜城跡説明板整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 来訪者(外国人旅行者を含む)が、史跡岐阜城跡の多様な特徴を理解できるようにサイン整備を行う。説明板について、位置・内容・意匠に留意しながら、史跡全体の解説機能を向上させる。また、案内・誘導、危険事項、マナー啓発等の乱立している看板についても適正に改善する。整備にあたっては、史跡全体から見た、動線・解説機能に留意しながら、全体的なサイン計画を立案した上で、具体的な配置等を検討する。

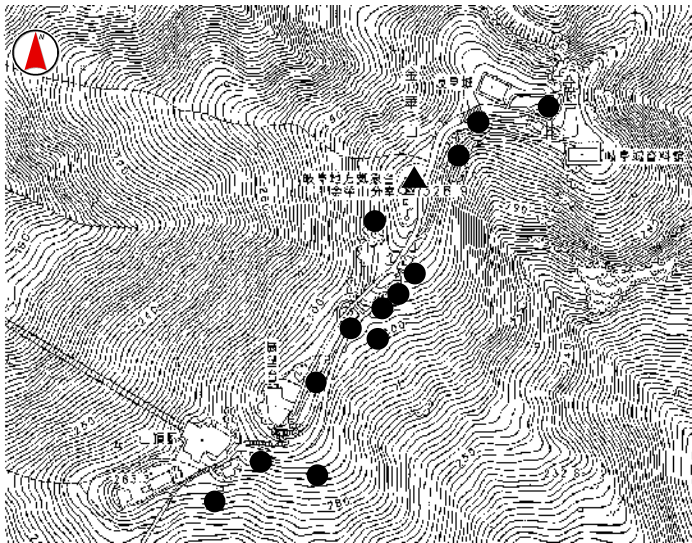
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡岐阜城跡整備委員会において、史跡のサイン整備のありかた、説明板の位置、内容、意匠等について検討を行い、平成25年度に「史跡岐阜城跡サイン計画」を作成した。
 多様な来訪者に史跡の価値をわかりやすく伝えるため、地図、写真、多言語等を用いた板面を作成した。
 平成26年度:説明板設置 5枚(山上部 4枚 山麓部 1枚) 平成27年度:説明板設置:2枚(山上部 2枚)
 平成28年度:説明板設置 6枚(山麓部 6枚) 平成29年度:説明板設置:4枚(山上部 4枚)
 平成30年度:多言語解説整備 13枚(山上部 11枚 山麓部 2枚) 令和元年度:説明板修繕:3枚(山上部 3枚)
 令和 2年度:山上部説明板1枚修繕 令和 3年度:-
 令和 4年度:-
 発掘調査箇所の説明板について、来年度以降調査完了後に更新する予定

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	関係者と調整しながら、計画的に説明板修繕を進める。

状況を示す写真や資料等

金華山山上部



金華山山上部 ● 多言語化実施済み 13か所

金華山山麓部 ▲ 多言語化未実施 1か所



金華山山麓部 ● 多言語化実施済み 2か所

▲ 多言語化未実施 4か所



乱立している案内板



整備後

説明板内訳合計

● 多言語化実施済み 15か所

▲ 多言語化未実施 5か所

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
----	-------

史跡岐阜城跡発掘活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	---

計画に記載している内容 史跡「岐阜城跡」区域内にある山麓城主居館跡(織田信長公居館跡)における史跡整備を行う。また発掘調査を一般公開するとともに、史跡の適切な保存を行い、効果的な活用方法について検討する。
 史跡の山上部、山林部についても、石垣や砦跡などの遺構の保存・活用に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・発掘調査
 - [山麓部]平成25年7月～平成26年3月、平成26年7月～平成27年1月、平成27年5月～平成28年3月、平成28年6月～平成29年2月、平成29年7月～12月 ※フェンス越しに常時公開(土・日公開、月・火休み)、平成30年度は山麓部発掘調査の報告書作成
 - [山上部]平成30年10月～12月、令和元年10月～令和2年1月、令和2年10月～令和3年1月、令和3年10月～令和4年1月、令和4年10月～令和5年2月
- ・現地説明会
 - [山麓部]平成26年3月1日、参加者900名。平成27年1月17日、参加者220名。平成28年2月27日、参加者900名。平成29年2月4日、参加者300名。平成29年12月9日、参加者350名。
 - [山林部]平成30年5月20日、参加者200名。12月1日、参加者120名。
 - [山上部]平成30年11月27日～12月1日、参加者800名。令和2年1月14日～18日、参加者3,500名。令和3年2月8日～13日(公開のみ)。令和5年1月31日～2月5日(公開のみ)。
- ・発掘調査成果報告会(オンライン)-令和3年2月6日、令和4年1月15日、令和5年2月18日
- ・史跡岐阜城跡整備委員会
 - 平成25年度2回、平成26年度3回、平成27年度2回、平成28年度2回、平成29年度2回、平成30年度2回、令和元年度1回、令和2年度2回(個別指導)令和3年度2回、令和4年度2回
- ・史跡岐阜城跡整備専門委員会(令和2年度より史跡岐阜城跡整備委員会に統合し、検討事項を共有することにより、議論の円滑化を図った。)
 平成25年度3回、平成26年度3回、平成27年度2回、平成28年度2回、平成29年度2回、平成30年度2回、令和元年度1回

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

山上部については平成30年度から試掘調査を開始した。発掘調査・整備事業は「史跡岐阜城跡整備基本計画」に基づき実施しているが、計画と現在の調査状況に齟齬が生じたため、山麓部の調査成果のまとめ、山林部の分布調査、文献や石垣、庭園等の総合調査を踏まえ、令和3年12月に史跡岐阜城跡保存活用計画を策定、整備基本計画を改定し、令和4年度から整備事業を実施している。

状況を示す写真や資料等

史跡岐阜城跡の調査範囲



○ 令和4年度発掘調査箇所



①ノ門(岩盤を掘り抜く巨大な穴)



②天守東側(池田期と考えられる石垣)



③天守南西部(天守台南西角石垣)



③天守南西部(天守台西辺の石垣)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
岐阜市長良川鵜飼伝承館(長良川うかいミュージアム)事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 長良川の鵜飼の特徴と魅力を、様々な展示や空間演出を用い、わかりやすく多くの人々に伝え、長良川の鵜飼文化を発信する拠点として、国の支援を受けて整備した岐阜市長良川鵜飼伝承館(長良川うかいミュージアム)において、文化の伝承及び観光の振興に寄与することを目的に、各種事業を展開する。
 ・長良川うかいミュージアム市民講座(月1回程度)
 ・鵜匠による「鵜飼の実演」「鵜飼の説明」等

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

鵜飼の歴史や文化などを市民に広く紹介するために、専門家などを招いて講座を開催した。
 鵜飼のオフシーズン(10月中旬～5月初旬)でも鵜飼が楽しめるように、館内において、鵜匠による「鵜飼の実演」「鵜飼の説明」を実施した。
 [令和4年度の実施回数]
 ・市民講座 13回/13回(実施/予定) 参加者238名
 ・鵜飼の実演 30回/30回(実施/予定) 参加者998名
 ・鵜飼の説明 18回/18回(実施/予定) 参加者319名
 上記以外にも、鵜飼文化の紹介や、ボランティアガイドの解説を交えた展示室の観覧と鵜飼の里の散策など、鵜飼にちなんだ体験型事業を実施している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) ぎふ長良川の鵜飼文化を発信する拠点として、展示室のPRをはじめ、鵜飼のオフシーズンにおけるイベントの実施や近隣宿泊施設との連携等により誘客を図っている。 今後は、指定管理者の強みを活かし、旅行エージェントや近隣県の小中学校を対象とした営業活動等により、更なる誘客に努めていく。																																										
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	■展示室観覧者数 単位：人																																										
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1,376</td><td>2,908</td><td>2,604</td><td>4,060</td><td>6,202</td><td>3,800</td><td>3,475</td><td>3,032</td><td>1,654</td><td>1,566</td><td>2,209</td><td>2,540</td><td>35,426</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>909</td><td>795</td><td>355</td><td>3,000</td><td>2,692</td><td>0</td><td>3,118</td><td>2,323</td><td>1,453</td><td>1,218</td><td>531</td><td>1,188</td><td>17,582</td> </tr> </tbody> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和4年度	1,376	2,908	2,604	4,060	6,202	3,800	3,475	3,032	1,654	1,566	2,209	2,540	35,426	令和3年度	909	795	355	3,000	2,692	0	3,118	2,323	1,453	1,218	531	1,188	17,582
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																													
令和4年度	1,376	2,908	2,604	4,060	6,202	3,800	3,475	3,032	1,654	1,566	2,209	2,540	35,426																														
令和3年度	909	795	355	3,000	2,692	0	3,118	2,323	1,453	1,218	531	1,188	17,582																														

状況を示す写真や資料等



市民講座「鵜飼舟造船技術見学会・実演」
(12月17日 四阿(あずまや)棟)



鵜飼の実演
(通年不定期開催 本館1階多目的スペース)



鵜飼文化の紹介
(通年不定期開催 本館2階受付前)



うかい歩きー鵜飼の里とミュージアムー
(毎月第2日曜日(月1回)開催 鵜飼屋地区内)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
鵜飼観覧船等の運航事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 鵜飼開催時に鵜飼観覧船を運航するほか、「風流屋形船」(鵜飼開催期間外)、「夢粋船(ゆめすいせん)」(鵜飼開催期間中の昼間)の運航も行う。
 また、鵜飼観覧船の新造及び補修を鵜飼観覧船造船所で行い、自由に見学することができる施設として開放する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

5月11日～10月15日までの間、鵜飼休み(中秋の名月頃)を除く157日間、鵜飼観覧船の運航を行っている。令和4年度はコロナウイルス対策(定員の7割又は半数以下での運航・アクリル板の設置による船内飲食・マスクの着用等)を実施し、一部を除き飲食可として3年ぶりに5月11日から運航を開始した。増水による中止もあり 150日の運航となった。また、鵜飼開催期間外に観覧船を活用する風流屋形船、鵜飼期間中の夢粋船も鵜飼観覧船と同様のコロナウイルス対策を実施し運航を行った。また、鵜飼観覧船造船所において、市重要無形民俗文化財に指定されている造船技術を公開した。なお、長良川遊覧船はGW期の4月29日から5月8日までの10日間と、3月18日、3月19日、3月25日、3月26日の4日間運航した。

近年、多発する大規模増水により観覧船等への被害が出ており、その対策として今年度は9月19日から9月28日の増水の間、15人乗り観覧船を陸揚げし被害を発生させなかった。

富裕層や女性客、外国人をターゲットとする高級観覧船を導入し、直接的な収支改善を図り、話題性を創出した。

お客様からの要望に応じて、オリジナルTシャツを販売。持続可能な鵜飼観覧船事業のあり方検討を含め、幅広い意見を交換するため、鵜飼観覧船事業魅力向上懇談会を開催

令和3年度	令和4年度
・鵜飼観覧船 1万3910人(6月21日～10月15日 うち増水のため中止6日、コロナウイルス感染症対策のため中止84日) ・風流屋形船 1029人(4月26日以降中止、鵜飼終了後再開、1月24日～3月21日コロナウイルス感染症対策のため中止) ・夢粋船 111人(鵜飼観覧船と同じ) ・長良川遊覧船 432人(4月24・25日 26日以降は中止。3月19日～21日実施。3月26日、27日の午前増水のため中止)	・鵜飼観覧船 5万2889人(5月11日～10月15日 増水のため中止7日) ・風流屋形船 392人(鵜飼開催期間外) ・夢粋船 484人(鵜飼観覧船と同じ) ・長良川遊覧船 1444人(4月29日～5月8日および3月18日、3月19日、3月25日、3月26日)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

令和4年度も新型コロナウイルス対策を講じながら鵜飼観覧船の運航を行った。来年度以降も引き続き、感染症対策に細心の注意を払いながら、安心安全な運航に努めていく。
 船頭の高齢化及び船頭数の不足が問題であり、令和4年度は求人ポスターのリニューアル、ハローワークの合同企業展に参加など積極的に活動する。また、ベテラン船頭からの教育制度を強化していき、新人船員の定着を目指す。

■計画どおり進捗している
 □計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



鵜飼観覧船



新型コロナウイルス感染症防止対策



高級観覧船



オリジナルTシャツ販売

項目	評価対象年度	令和4年度
長良川まつり補助事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 長良川まつりは、毎年7月16日に神明神社(岐阜市長良字鶴飼屋)及び長良川右岸で開催されており、長良川での航行や、川で遊ぶ人たちの安全、風水害からの安全を祈り、提灯で装飾された船が出船する。また神明神社では鶴飼関係者による鮎供養が行われ、長良川に鮎が放流される。これらの伝統行事に対し、支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度

補助金支出額:250,000円

長良川まつり実行委員会が実施する提灯船運航費用、打ち上げ花火費用等に対し助成し、約1,000人の集客があった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域事業支援として、伝統行事の継承に貢献しているが、観光客数は伸びていないため、市の観光施設(うかいミュージアム、観覧船造船所など)と連携し、地域への入込客数を増やすイベントを行うなど、観光事業への貢献に繋げる。

状況を示す写真や資料等



①鮎供養(神明神社)



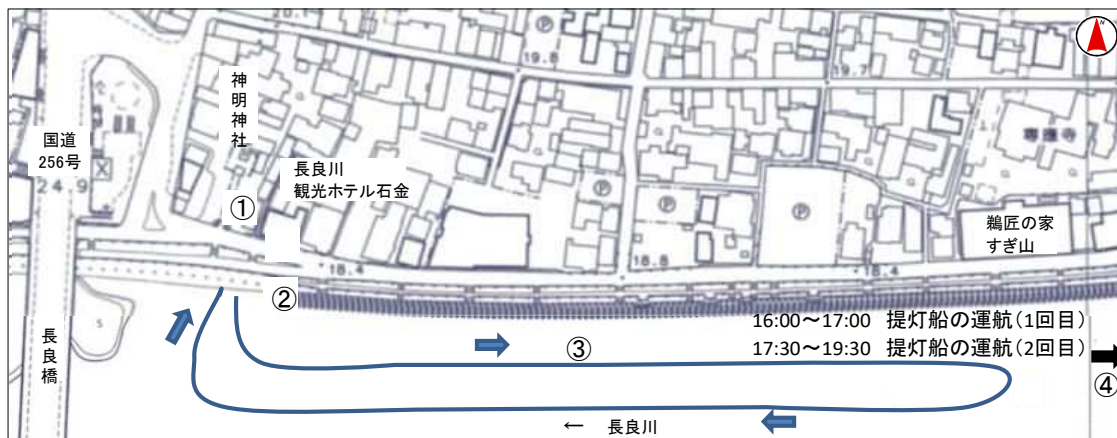
②鮎の放流(神明神社前川原)



③提灯船の運航 ※R4は天候不良のため係留



④打ち上げ花火



①~④の行事の開催場所(開催日は毎年7月16日)

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
ふるさと大好き鶺鴒事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 ふるさとを誇りに、自信をもって生きぬく資質と態度を養うことを目的に、各学校の企画・運営で鶺鴒観覧体験事業を行い、主に小学校5年生及び中学校1年生に必要な鶺鴒観覧料の半額を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度
 感染防止対策を徹底しながら、小学校5年生と中学校1年生を対象に実施。小中学生4,972名が参加。
 令和3年度
 コロナ感染対策等も検討した結果、令和3年度は事業を中止することとした。
 令和2年度
 コロナ感染対策のため全学校中止
 令和元年度
 小学校46校中 42校実施 児童2,424人参加 増水のため中止3校 実施学年の変更に伴う辞退校1校

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
 古くから伝わる岐阜の文化について直接体験ができ、大変好評である。2年前参加できなかった中学校1年生の生徒にも参加機会を与えている。令和5年度も小学校5年生と中学校1年生で実施する。

状況を示す写真や資料等

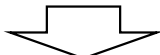
鶺鴒観覧体験の流れ(例)



事前学習
 (鶺鴒さんのお話やうかいミュージアムの見学)



鶺鴒観覧
 (親子で観覧する学校もあり)



観覧体験後の振り返り
 (鶺鴒船で俳句作り など)





参加者の声(好評事例)

- ・直接体験ができ、鶺鴒の迫力に感動した。
- ・鶺鴒さんの真剣なまなざしが印象的だった。
- ・岐阜の伝統文化を大切に継承していきたい。

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
伝統的工芸品「岐阜提灯」振興事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	伝統的工芸品産業の振興に関する法律の認定を受けた、伝統的工芸品「岐阜提灯」に係る第5次振興計画に基づき、岐阜提灯協同組合が実施する後継者確保・育成事業、需要開拓事業等に対し、支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度 補助金実績 1,000,000円(総事業費 4,795,764円) 令和4年度 補助金実績 415,075円(総事業費 1,628,023円) (1)後継者確保・育成事業:「技術研修」 (2)需要開拓事業:「市民講座」 :PRポスター5,400枚作製 (3)品質表示事業:47個合格			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		国内外に向けた需要開拓事業や、特産品としての資質、技術継承事業に対し支援を行う。	
状況を示す写真や資料等			
補助事業(1) 後継者確保・育成事業  組合員を対象に、伝統的技法である摺り込み、張りの技術研修を実施。 <input type="checkbox"/> 参加組合員数 令和4年度: 摺り込み4人、張り4人 令和3年度: 摺り込み3人、張り4人		補助事業(2) 需要開拓事業  岐阜市歴史博物館が実施する一般市民に向けた提灯の製造体験講座「岐阜提灯を作る」に講師を派遣。 <input type="checkbox"/> 受講者数(定員10人) 令和4年度: 10人 令和3年度: 1人	
補助事業(3) 品質表示事業  「伝統的工芸品」としての品質を備えているかどうか、検査委員会による検査を実施。 <input type="checkbox"/> 47個の申請がありすべて合格。		岐阜提灯 特徴 ①岐阜地区で生産されている ②ひごが細い ③地紙が薄い ④美しい絵が描かれている ※「守貞謄稿」より  ※「岐阜提灯の製作用具及び製品」は、平成28年3月2日に、国の登録有形民俗文化財に登録。	

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
		「信長学」推進プロジェクト	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	織田信長公居館跡発掘活用事業とあわせて、信長研究をソフト・ハード両面でより多面的に推進し、また、「信長公のまち＝岐阜」をより効果的にアピールするため、市民及び全国の信長ファンと協働で、織田信長公に関する史料・文献の収集・整理、価値付け、情報発信等に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年度 ・信長学フォーラムを11月22日(日)に実施。定員600名のところ、申込者680名、参加者551名。 ・歴史講座・信長塾(全5回)を実施。申込者305名、延べ参加者数838名。 平成28年度 ・信長学フォーラムin東京(第9回 信長学フォーラム)を10月10日(月・祝)に大手町サンケイプラザにて実施。定員500名のところ、申込者506名、参加者450名。 ・第10回信長学フォーラムを2月25日(土)にじゅうろくプラザにて実施。定員600名のところ、申込者1,291名、参加者600名。 ・歴史講座・信長塾(全5回)を実施。申込者234名、延べ参加者数830名。 平成29年度 ・歴史講座・信長塾(全5回)を実施。申込者259名、延べ参加者数863名。 ・第11回信長学フォーラムを11月26日(日)にじゅうろくプラザにて開催。定員600名のところ、申込者644名、参加者523名。 平成30年度 ・歴史講座・信長塾(全5回)を実施。申込者290名、延べ参加者数810名。 ・第12回信長学フォーラムを1月20日(日)にじゅうろくプラザにて開催。定員600名のところ、申込者642名、参加者550名。 令和元年度 ・歴史講座・信長塾(全5回)を実施。申込者244名、延べ参加者数845名。 ・道三学フォーラム(第13回信長学フォーラム)を11月23日(土・祝)にじゅうろくプラザにて開催。定員600名のところ、申込者855名、参加者509名。 令和2年度 ・歴史講座・信長塾(全5回)は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ・第14回信長学フォーラムは、新型コロナウイルス感染症の影響により延期し、令和3年1月30日(土)に観客数を減らし開催。定員250名のところ、申込者445名、参加者153名。 令和3年度 ・歴史講座・信長塾(全5回)をオンライン開催として実施。会場でのオンライン受講申込者92名、参加者36名。 自宅からのオンライン受講参加者105名。 ・第15回信長学フォーラムを11月27日(土)に観客数を減らし開催。定員150名のところ申込者276名、参加者152名。 令和4年度 ・歴史講座・信長塾(全5回)をオンライン開催として実施。会場でのオンライン受講申込者31名、参加者27名 ・第16回信長学フォーラムを12月3日(土)に観客数を減らし開催。定員250名のところ申込者428名、参加者206名。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	申込者数は年々減少傾向にあるので、さらなるPRと内容の充実にも努める。		
状況を示す写真や資料等			
			
第16回信長学フォーラム「信長と家康～天下人の生きざま～」(令和4年12月3日) 会場:じゅうろくプラザ 出演者:小和田哲男氏、堀江登志実氏			
			
信長塾(令和4年度第3回) 会場でのオンライン受講		信長塾(令和4年度第4回) 会場でのオンライン講演	

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	令和4年度
		年月日	掲載紙等
新聞 (鵜飼)	長良川鵜飼 予約受け付けスタート「今年こそ」高級船に500人超	令和4年4月5日	中日新聞
	山下純司鵜匠が引退 長良川鵜飼 新たに長男晃正氏	令和4年4月8日	岐阜新聞
	鵜舟を7年ぶりに新調	令和4年4月9日	中日新聞
	清流守ろう 稚アユ放流	令和4年4月14日	中日新聞
	「カーヨ」鵜に声掛け健診	令和4年4月16日	中日新聞
	鵜舟完成、未来へ継承 進水式「舟かぶせ」で安全祈る	令和4年4月17日	岐阜新聞
	長良川鵜飼 清流に光 3年ぶり通常開幕	令和4年5月12日	岐阜新聞
	長良川鵜飼 ソファでゆったり 今季から高級観覧船3隻導入	令和4年5月19日	中日新聞
	船頭不足 担い手養成へ 長良川鵜飼 鵜匠と岐阜市が研修会	令和4年7月8日	中日新聞
	長良川に成魚放流 ちょうちん船3年ぶり出船	令和4年7月17日	中日新聞
	長良川鵜飼の船頭養成 棹一本、観覧船動いた	令和4年8月14日	岐阜新聞
	鵜飼観覧船 船頭への道 岐阜 研修会で歴史学ぶ	令和4年8月22日	読売新聞
	担い手確保へ研修スタート 長良川鵜飼 進む船頭の高齢化	令和4年9月7日	中日新聞
	長良川鵜飼 ピンチに助け舟 提灯職人 船頭に名乗り	令和4年9月19日	中日新聞
	鵜舟 卓越の職人技紹介 長良川うかいミュージアムで特別展	令和4年9月27日	中日新聞
	鵜飼に学生船頭 続々 地域の歴史学び「愛着深まる」	令和4年9月27日	毎日新聞
	迫力の眺め 観客堪能 長良川鵜飼「水上座敷」始まる	令和4年10月1日	中日新聞
	鵜飼舟 職人技に迫る うかいミュージアム 造船技術の特別展	令和4年10月2日	岐阜新聞
	乗船者数5万人達成 長良川鵜飼 愛知の女性に記念品	令和4年10月10日	中日新聞
	長良川鵜飼V字回復 今季5万人超 高級観覧船が人気	令和4年10月10日	中日新聞
	長良川鵜飼の未来考える 岐阜 無形文化遺産めざしシンポ	令和4年10月13日	中日新聞
	3年ぶりフル開催の長良川鵜飼 きょう開幕	令和4年10月15日	中日新聞
	長良川で活躍9羽とむらう 岐阜で鵜供養	令和4年10月17日	中日新聞
	今季閉幕 鵜の体調確認	令和4年10月19日	中日新聞
	土足利用の観覧船 来季に向け1隻新造 長良川鵜飼で岐阜市	令和4年11月16日	中日新聞
	鵜飼いのグループ化着手へ 岐阜市、ユネスコ申請目指し	令和4年12月24日	朝日新聞
無形遺産、岐阜市が一括申請狙う 鵜飼「仲間」探し	令和4年12月29日	岐阜新聞	
新聞 (岐阜城)	岐阜城と月をスマホで撮る	令和4年10月5日	中日新聞
	山城を攻めろ「岐阜城(山上部編)」	令和4年10月9日	岐阜新聞
	天守閣南西部の石垣解明へ	令和4年10月21日	中日新聞
	岐阜城天守の規模探る	令和4年10月21日	岐阜新聞
	天守台南側発掘へ	令和4年10月24日	朝日新聞
	山城を攻めろ「岐阜城(合戦編)」	令和4年11月13日	岐阜新聞
	何度も落城の岐阜城、本当に難攻不落？	令和5年1月26日	岐阜新聞Web
	信長期の石垣、南西角で新たに発見	令和5年1月31日	岐阜新聞
	来月第1弾の樹木伐採	令和5年1月31日	岐阜新聞
	信長期？天守の石垣新たに発見	令和5年1月31日	中日新聞
	信長築城時の石垣確認	令和5年1月31日	読売新聞
	岐阜城 伐採で景観復元	令和5年2月22日	読売新聞
テレビ	あなたの街から・岐阜市「戦国時代の岐阜城の姿を体感」	令和4年11月18日	ぎふチャン
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【報道の主な内容】 本市の中心的な歴史資産であるぎふ長良川の鵜飼に関する話題が多く取り上げられた。 【報道の内容のまとめ】 ぎふ長良川の鵜飼に高級観覧船を新たに導入する取組や、鵜飼観覧船の船頭養成に関する取組に注目が集まったほか、鵜飼観覧船乗船客が5万人を超え、V字回復したことが話題となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		今後も歴史まちづくり事業をPRするため、積極的にマスコミに情報提供をする。	
状況を示す写真や資料等			
著作権保護のため報道記事は掲載していません。			

項目

その他(効果等)

計画に記載している内容 岐阜公園三重塔特別公開の開催(令和4年5月28日、11月12日、13日)
史跡岐阜城跡における、金華山山上部での発掘調査の常時公開及び現場説明会の開催

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

登録有形文化財である岐阜公園三重塔内部の特別公開を令和4年5月28日(土)及び令和4年11月12日、13日(土、日)に行ったところ、468人(5月)と1,767人(11月)の参加者があり、岐阜市の近代史を物語る建造物の魅力を発信できた。
史跡岐阜城跡において、金華山山上部での発掘調査の常時公開を実施した。また、令和5年1月31日～2月5日に現場を一般公開した。また、令和2年度から発掘調査成果報告会をオンラインで実施している(第1回(令和3年2月6日)75人、第2回(令和4年1月15日)52人、第3回(令和5年2月18日)56人)。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
計画の進捗に影響なし

コロナ禍においては、オンラインによる周知などの工夫を継続していく。

状況を示す写真や資料等



懸垂式(地面から浮いている)の心柱



心柱が地面から浮いている様子を覗き込む参加者

岐阜公園三重塔特別公開の様子(11月12日 岐阜公園)



史跡岐阜城跡オンライン説明会の様子(2月18日)

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:岐阜市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和4年度第2回岐阜市歴史的風致維持向上協議会 令和5年2月27日	
(コメントの概要)	
事業の進行管理・評価について	
2期計画事業の実施にあたっては、各事業の目的をしっかりと市民に理解してもらって進めるよう留意してほしい。	
(今後の対応方針)	
2期計画においても、事業を進めるにあたっては、庁内調整会議等を活用して情報共有を図るとともに事業の目的をはっきりさせたうえで事業を進めていく。	